

交渉結果報告書

市長公室 人事課

交渉内容 年末年始加給金の見直しについて
交渉日時 平成24年8月8日(水) 15時00分～17時00分
交渉場所 3階302会議室
交渉出席者 当局側 久保田市長 平本人事監 栢木市長公室長 星川次長 秋元人事課長
石田主幹 正垣主幹兼人事研修係長 雲丹亀給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計15人

概要	要
組合の主張	<p>年末年始加給金に関する交渉を行った</p> <ul style="list-style-type: none">① 年末年始加給金は、年末年始は特別な期間であることを踏まえて支給してきた手当である。昨年9月議会では、条例の不備を整理するために当局として年末年始加給金の条例提案し、議会で可決されたものである。議会で可決されたという重みを踏まえて、今後もその時の主張に筋をとすべきである。② 年末年始加給金を支給するという当局の基本的な姿勢が、1年足らずの間に見直しの方向へ変わることは、労使関係としてどうなのか。③ 9月議会までに妥結合意を図るという日程は非常に厳しい。市長の任期があるというのはわかるが、条例化してから1年足らずでの見直しについては、より丁寧に時間をかけて議論する必要がある。
当局の主張	<ul style="list-style-type: none">① 昨年9月議会で、労使合意して議会で条例提案し可決されたが、この間の議会等からの「3階建て」等の厳しい指摘を踏まえ、年末年始加給金を見直すこととした。② 昨年9月議会で条例化を図った後、宇治市に追随して条例化を図る団体はなく、条例化していた団体までもが廃止するなどの大きな情勢の変化があった。これまで議会に対して今年9月定例会までには見直すと答弁してきており、9月議会には見直しの条例提案をしたいと考えている。③ 任期内の課題については、任期内に決着させることが原則と考えている。日程の厳しさは当然理解しているが、議会に対し公の場で見直しを約束しており、労使の信頼関係を保ちながら、妥結合意に向け努力したい。